

2012年理(数・物・化)第1問

1 次の問いに答えよ.

(1) 1から9までの番号が書かれた9個のボールが袋に入っている. この袋の中から1個のボールを取り出し, その番号を確認してからもとに戻す試行を考える.

(i) この試行を3回行ったとき, 同じ番号のボールを少なくとも2回取り出す確率は $\frac{\boxed{\text{ア}} \boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}} \boxed{\text{エ}}}$ である.

(ii) この試行を2回行ったとき, 取り出したボールの番号の差が1以下となる確率は $\frac{\boxed{\text{オ}} \boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}} \boxed{\text{ク}}}$ である.

(2) t を $t > 1$ をみたす実数とし, xy 平面上で次の方程式で表される3直線 l_1, l_2, l_3 を考える.

$$\begin{aligned} l_1: tx - y &= 0 \\ l_2: x - ty - t^2 &= 0 \\ l_3: x + ty - t^2 &= 0 \end{aligned}$$

l_1, l_2, l_3 で囲まれる三角形の面積を $S(t)$ とし, この三角形の x 軸の上側の部分の面積を $S_1(t)$, x 軸の下側の部分の面積を $S_2(t)$ とする.

(i) $S_2(t) = 2S_1(t)$ となる t の値は $t = \sqrt{\boxed{\text{ケ}}}$ である.

(ii) $S(t) = \frac{t \boxed{\text{コ}}}{t \boxed{\text{サ}} - \boxed{\text{シ}}}$ であり, $S(t)$ を t で微分して符号を調べることにより, $S(t)$ は $t = \left(\frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}}} \right)$

で最小値をとることがわかり, 最小値は

$$\frac{7}{\boxed{\text{チ}}} \left(\frac{\boxed{\text{ツ}}}{\boxed{\text{テ}}} \right) \frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{ナ}}}$$

となる.

(3) p を実数とし, 方程式 $x^3 - px^2 - \frac{13}{4}x + \frac{15}{8} = 0$ は3つの実数解 a, b, c ($a > b > c$) をもつとする. $a + c = 2b$ をみたすとき,

$$a = \frac{\boxed{\text{ニ}}}{\boxed{\text{ヌ}}}, \quad b = \frac{\boxed{\text{ネ}}}{\boxed{\text{ノ}}}, \quad c = \frac{\boxed{\text{ハ}}}{\boxed{\text{ヒ}}}, \quad p = \frac{\boxed{\text{フ}}}{\boxed{\text{ヘ}}}$$

である.

(4) O を原点とする空間内に3点 A, B, C がある.

$$|\vec{OA}| = 2, \quad |\vec{OB}| = 1, \quad |\vec{OC}| = 3$$

であり, $\vec{OA}, \vec{OB}, \vec{OC}$ のどの2つのなす角も $\frac{\pi}{3}$ であるとする. G を $\triangle ABC$ の重心とし, M を AB の中



点, N を BC の中点, L を MN の中点とする. このとき,

$$|\vec{OG}| = \frac{\boxed{\text{ホ}}}{\boxed{\text{マ}}}, \quad |\vec{GL}| = \frac{\sqrt{\boxed{\text{ミ}} \boxed{\text{ム}}}}{\boxed{\text{メ}} \boxed{\text{モ}}}$$

である.